

令和元年度 第6回豊岡市教育委員会の会議（定例会）会議録

○ 開会及び閉会の日時及び場所

2019年9月25日（水）

場 所 豊岡市民会館4階 講座室

所 在 地 豊岡市立野町20番34号

開会時間 午後2時00分

閉会時間 午後3時45分

○ 出席委員の氏名

教育長	嶋 公 治
委員（教育長職務代理者）	佐伯 和亜
委員	向井 美紀
委員	飯田 正巳
委員	成田 壽郎

欠席委員 なし

○ 教育長、委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

事務局	教育次長	堂垣 真弓
	教育総務課長	永井 義久
	こども教育課長	飯塚 智士
	こども教育課参事（こども支援センター所長）	川端 美由紀
	こども育成課長	木下 直樹
	こども育成課参事	富岡 隆
	教育総務課教育総務係長	竹内 有子

事務局以外

文化振興課長	米田 紀子
スポーツ振興課長	池内 章彦
生涯学習課長	大岸 和義

○ 日程

第1 会議録署名委員の指名

飯田 正巳 委員

第2 前回の会議録の承認

2019年8月22日（木）開催 第5回定例会

第3 教育長の報告

第4 地域コミュニティ振興部の報告

1 文化振興課

- (1) 第70回記念豊岡市美術展について

2 スポーツ振興課

- (1) とよおかスポーツフェスティバル2019について
- (2) 「とよおか2020」創刊号の発行について

3 生涯学習課

- (1) 夏休みラジオ体操顔見知り運動の実施結果について

第5 議事

- 報告第11号 寄附物件の受納について
- 報告第12号 令和元年9月市議会答弁概要について

第6 教育委員会事務局の報告

1 こども教育課

- (1) 問題行動等の状況について
- (2) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について

2 こども育成課

- (1) 「豊岡市における幼児教育・保育及び放課後児童のあり方について」豊岡市子ども・子育て会議からの答申内容について

第7 委員活動報告

第8 教育委員会活動予定

- 1 次回教育委員会会議の日程について
- 2 今後の活動・行事予定

開会 午後2時

(教育長)

ただ今から、令和元年度第6回教育委員会会議を開会いたします。本日は、佐伯委員が遅れることを聞いております。それ以外の委員はすべて出席していますので、会議が成立していることを報告いたします。

【日程 第1 会議録署名委員の指名】

(教育長)

日程第1 会議録署名委員の指名です。本日は、飯田委員にお願いしたいと思いますので、よろしくをお願いします。

【日程 第2 前回の会議録の承認】

(教育長)

日程第2 前回の会議録の承認についてです。8月22日に開催しました第5回教育委員会会議の会議録について、委員の皆さんの承認を求めるものです。誤った点・修正などございませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

「なし」という声がありますので、会議録については承認することに決定いたします。

【日程 第3 教育長の報告】

(教育長)

日程第3 教育長の報告についてです。前回8月22日の教育委員会会議から本日の会議までの私の主要な教育活動の概要について報告します。

《教育長の報告概要》

8月30日に開催した第2回とよおか教育プラン策定委員会では、次の第4次とよおか教育プランの構想が決定した。特に、基本理念について、第3次とよおか教育プランを受けるかたちになり、「ふるさと豊岡を愛し 夢の実現に向け挑戦する子どもの育成」という基本理念は生かしながら、夢実現力の内容は、非認知能力をトップに構成要素として掲げ、「やりぬく力、自制心、協働性」これを子どもたちにつけることで、理念を具現化するという考えで、現在、調整しているところである。これからの教育プランの内容には、非認知能力のことが大きく影響した施策展開になるということを承知していただきたい。

それから、9月7日に「第0回豊岡演劇祭」に行ってきた。城崎中学校1年の女子生徒が出演していた。この生徒は大人が観ても眠くなるような難しい演劇でも、ものすごく目を凝らして観ているという演劇好きの子で、学校と自宅の間に城崎アートセンターがあり、そこで宿題をして、演劇をする人たちとコミュニケーションをとるといような子で、平田さんの演劇ワークショップに行ったときに目に留まり、「是非とも出てくれ」とお誘いを受けた。最初は、通りすがりの人という感じの役だったが、台詞を次々いただいて、英語でしゃべるような夏休みの宿題をそこでやるというような設定をいただいて、非常に馴染んで立派な態度で務めていた。今度は2月に東京公演があり、そこにも是非来て欲しいということで、中学校も学校を挙げて彼女を応援していきたいとのことである。運動関係では、100メートル走で良い成績を収めたり、ボードやゴルフで良い成績を収める子はあるが、こういう文化芸術的なことで突き抜けた子というのはいないので、是非ともバランスよく、頑張っている子どもたちを応援していきたいと学校と相談しているところである。皆さんも来年度、是非とも演劇祭に行っていたきたい。

次に、9月17日に中竹野地区区長会長が来室し、8月に開催した教育懇談会を受け、その後の中竹野地区の動きについて報告があった。9月7日に保護者を対象とした意見交換会を実施し、その日は、年配の方が来られると保護者が発言しづらいので、配慮して欲しいという声を受けて、保護者だけを対象にしたということであった。大半の親が統合を希望している。特に、認定こども園に通わせている親は、その思いが非常に強いという報告があった。それから、父親と母親を比べると、母親の方が統合に前向きだと。中竹野地区に嫁いできているので、中竹野小学校にあまり思い入れがないのではないかというような区長会長の意見があったが、統合については、待ったなしだと思っているという雰囲気がすごく強いので、今度は、地域の方も一緒になって意見交換会をし、その後、中竹野地区としての意見を取りまとめたいと報告があったので、紹介しておく。

それから、小学校の運動会は、9月21日から雨が降って、23日には暴風警報が出た中で各小学校の校長先生方は本当に苦勞して実施の判断をしたことが予想できるが、1時間、2時間遅らせて開催したり、午後から開催したり、それから、日にちを2日間ほど延期して今日25日に実施しているところもある。今日で全ての小学校の運動会が実施されたが、教育委員会に「暴風警報が出ているのに実施するとはなんてことだ」というお叱りの電話があった。学校は、きちんと根拠を持って実施したと思うが、そこに誤解なり、あるいは理解を得られないようなことがあるとすれば、今後の課題にしていきたいと思う。また、校庭にテントを張ったが、風が吹きテントが飛んでしまうところがあり、テントを全部取って実施したが、今度は暑くなり、日差しが強く熱中症対策が十分にできていないのではないかというような、いろんな意見があった。このことを踏まえながら、反省を活かしたいという意味で、明日26日に開催される校園長会で少し話をしたいと思う。また、教育委員の皆さんから運動会に行かれた感想を後ほど聞かせていただけたらと思う。

【日程 第4 地域コミュニティ振興部の報告】

(教育長)

それでは、日程第4 地域コミュニティ振興部の報告に移ります。まず、文化振興課 (1) 第70回記念豊岡市美術展について、文化振興課長の説明をお願いします。

1 文化振興課

(1) 第70回記念豊岡市美術展の開催について

《文化振興課長の説明概要》

第70回記念豊岡市美術展の開催について、資料に基づき説明する。

今年度の豊岡市美術展の会期は、10月31日(木)から11月4日(月)までの5日間である。表彰式は、11月3日(日)文化の日に実施する。児童・生徒の部は、午前10時30分から、招待・一般・高校の部は、午後2時から、じばさんTAJIMA 2階の多目的ホールで行う。教育委員の皆様に、児童・生徒の部の表彰式に出席をお願いしたい。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。教育委員の皆さんは役割がありますので、よろしくをお願いします。

続きまして、スポーツ振興課 (1) とよおかスポーツフェスティバル2019について、(2) 「とよおか2020」 創刊号の発行について、スポーツ振興課長の説明をお願いします。

2 スポーツ振興課

(1) とよおかスポーツフェスティバル2019について

《スポーツ振興課長の説明概要》

とよおかスポーツフェスティバル2019について、資料に基づき説明する。

毎年、体育の日にスポーツフェスティバルを開催しており、今年は10月14日（月・祝）に開催予定である。会場は、ウェルストーク豊岡で、8時45分から3時まで、ジョギング、ウォーキング、運動会、ニュースポーツ体験などたくさんの事業を実施する。この事業の主催は、豊岡市と豊岡市体育協会、主管は豊岡市スポーツ推進委員会、共催は「スポーツクラブ 21 ひょうご」豊岡市連絡協議会である。

(2) 「とよおか2020」 創刊号の発行について

《スポーツ振興課長の説明概要》

来年度、東京でオリンピックが開催される。豊岡市では、海外のボートチームの事前合宿誘致を進め、ドイツ・スイス代表ボートチームの事前合宿地とする協定書を調印した。今後、この2チームの受け入れに向け、取組を進めていくことになる。また、今年8月からドイツ人の国際交流員が着任しており、国際交流員とも協力しながら、子どもたちにドイツのことを理解してもらうような取組を今後考えていきたいと思っている。

また、聖火リレーが来年5月24日（日）午前中に豊岡を走ることになっている。出発地は、六方防災ステーション立野拠点、ゴールは市役所市民広場であるが、この間のどこを走るかについては、まだ決定はしていない。

このように、豊岡は、来年の東京オリンピックの事前合宿や聖火リレーの取組を進めており、ぜひ、子どもたちにも関心を持ってもらい、オリンピックに関わるということを理解してもらうため、「とよおか2020」のチラシを作成した。できるだけ子どもたちに関わっていただけることも考えながら、事業を展開していきたいと考えている。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(飯田委員)

以前、スポーツフェスティバルは、陸上競技場を使ってやっていたと記憶しているのですが、最近はやっていないのでしょうか。雨天対策と関係があって、すぐに総合体育館に移動できるようウェルストークでやっているのでしょうか。

(スポーツ振興課長)

この9、10、11月の期間に各体育協会は、スポーツ月間で各大会をやっています。陸上競技場では陸上協会が大会をされていると思いますし、障害者スポーツ大会は11月に社会福祉課が実施

します。

(教育長)

旧豊岡市の時は、市民グラウンドで優秀選手を表彰したり、行進したりということがありました。そのことかと思えます。

(スポーツ振興課長)

以前は、体育協会の事業として、開会式を陸上競技場で行い、その後、各会場に移動し、それぞれの大会をやっていた時期があったと思います。

(教育長)

その他、よろしいでしょうか。

続きまして、生涯学習課 (1) 夏休みラジオ体操顔見知り運動の実施結果について、生涯学習課長の説明をお願いします。

3 生涯学習課

(1) 夏休みラジオ体操顔見知り運動の実施結果について

《生涯学習課長の説明概要》

今年度の夏休みラジオ体操顔見知り運動の中学生の参加状況について、資料に基づき説明する。夏休みラジオ体操に5回以上参加した生徒の割合は、89.7%で非常に高い参加率になっている。この取組は、中学生の夏休み中の生活習慣の乱れを予防し、中学生と地域をつなぐきっかけづくりとして行われているが、この高い参加率から、取組としてはかなり定着してきているととらえている。今後は、これをきっかけに中学生が地域のイベントや事業に参画してくれるような取組を、子どもと心でつながる市民運動推進協議会を通じて、地域にお願いしていこうと考えている。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(飯田委員)

ラジオ体操の参加率89.7%は、本当にすごい数字で驚きました。先日、私が行きました運動会でも、きっちりやっていたので、すごいな、みんなできるんだと思いました。今度は、参加率よりも中身のほうで、ぜひご指導ください。お願いします。

(生涯学習課長)

わかりました。

(教育長)

その他ありませんでしょうか。

(向井委員)

豊岡北中学校ですが、前年度の参加率が47.8%で、今年度は89.4%と高い数字になっていますが、何か特別な指導があったのでしょうか。

(生涯学習課長)

特に大きな取組は聞いていません。

(教育長)

その他、よろしいでしょうか。

【日程 第5 議事】

(教育長)

それでは、日程第5 議事に移ります。報告第11号 寄附物件の受納について、教育総務課長の説明をお願いします

○ 報告第11号 寄附物件の受納について

《教育総務課長の説明概要》

寄附物件の受納について、資料に基づき説明する。

団体6件、個人5件、合計11件、1,540,000円相当の寄附申出があり、これを受納したので報告する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(飯田委員)

府中小学校への寄贈者は株式会社オークと会社になっていますが、清滝小学校への寄附者は、同じ会社ですが代表取締役個人の名前がありますが、個人からの寄附ということでしょうか。それとも同じでしょうか。

(教育総務課長)

どちらも、同じと認識しており、府中小学校の寄附者に代表取締役のお名前の記載が漏れています。

(飯田委員)

わかりました。

(教育長)

その他ありませんでしょうか。では、寄附物件の受納を行ったことをご承知おきください。

続きまして、報告第12号 令和元年9月市議会答弁概要について、教育次長の説明をお願いします。

○ 報告第12号 令和元年9月市議会答弁概要について

《教育次長の説明概要》

令和元年9月市議会答弁概要について、資料に基づき説明する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。それでは、令和元年9月市議会での答弁内容について、ご承知おきください。

【日程 第6 教育委員会事務局の報告】

(教育長)

それでは、日程第6 教育委員会事務局の報告です。まず、こども教育課(1)問題行動等の状況について、こども教育課長の説明をお願いします。

1 こども教育課

(1) 問題行動等の状況について

《こども教育課長の説明概要》

問題行動等の状況について、こども教育課長が報告する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(飯田委員)

件数の減少は非常に良いことだと思います。特別な取組みがあつて減ってきたとか、取組の成果やこの取組が良かった、この取組みを継続したらもっと減るだろうというような分析はありますか。

(こども教育課長)

問題行動については、実際に、児童生徒と先生の関係性が良くなっていると感じています。教育長が以前から言っておられますが、先生が子どもたちのことを認めてくれるという数値が非常に上がってきています。このことから、先生と子どもとの関係性がかなり上昇しているという手応えがあります。それから、もう1つは、小中連携についてです。小中学校合同で9年間の子どもの育ちを見ていこうという取組の成果により、問題行動及び長期欠席の両方とも件数の減少につながったのではないかと思います。

さらに、特別な支援が必要な子どもたちが多数存在しています。特別支援の視点を入れること、例えば、今までであれば、ダメだというような指導をしていたものをその子自体の特性を理解して、子どもに寄り添いながら指導ができているという状況も件数の減少につながっていると考えています。

(教育長)

万能策というものはないので、今年うまくいったから、来年もうまくいくとは限らないので、

学校がその子に合った方法をたくさん持っていて、どれが適切なのかということの判断をする、そういう力をつけなくてはいけないということと、日常的に、運動会や体育祭でもそうですが、子どもは本当に落ち着いていますし、先生方の声かけは至るところにあります。これは万能といえれば万能なのかもしれない。これは不易の教育として、どの学校も手応えを感じながらやっているところです。1つ1つの方法については、うまくいく場合やうまくいかない場合、この子にはいいけど、この子にはうまくいかないということがたくさんありますので、安心せずに危機感を持ってやっていかなければならないと思っています。

それでは、続きまして、(2) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について、こども支援センター所長の説明をお願いします。

(2) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について

《こども支援センター所長の説明概要》

こども支援センターの活動状況について、資料に基づき説明する。

不登校の取組状況は、こども支援センターのふれあいルームは2学期を迎え、1学期から引き続き2名の生徒が通級している。夏季休暇中に2日登校日を設け、2名とも出席し様々な活動に取り組んでいた。

特別支援の取組状況は、相談件数は昨年より少ない50件である。取組件数は、8月末の段階で、昨年度と同様の480件である。夏季休暇中ということもあり、学校園訪問の件数は減少している。

家庭児童相談の取組状況は、虐待通告の受付や新たな一時保護は発生していないが、9月に入り、小学校1年生1名、小学校6年生と4年生の兄弟を一時保護した。また、新たに要保護児童対策協議会のケースとして合計4件対応を行っている。この中のケースも含めて虐待が疑われるケース等に関して、園やこども家庭センターなど関係機関が集まり2回のケース検討会議を開催し、今後の対応について協議を行った。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

続きまして、こども育成課 (1) 「豊岡市における幼児教育・保育及び放課後児童のあり方について」豊岡市子ども・子育て会議からの答申内容について、こども育成課参事の説明をお願いします。

2 こども育成課

(1) 「豊岡市における幼児教育・保育及び放課後児童のあり方について」豊岡市子ども・子育て会議からの答申内容について

《こども育成課参事の説明概要》

「豊岡市における幼児教育・保育及び放課後児童のあり方について」豊岡市子ども・子育て会議からの答申内容について、資料に基づき説明する。

計画策定の背景には、女性の就業率の上昇、幼児教育・保育の無償化などにより、放課後児童クラブも含め、さらに保育ニーズが増加することが懸念されていること、他方、今後も急激な少子化が進む見込みであり、一定数の園児集団が確保できないことによる幼児教育・保育の質の低下や園の運営を著しく非効率なものとするという懸念もある。また、急激な園児数の減少は、私

立園にとっても経営基盤を大きく損なうことなどがあり、これらを総合的に解決するために、施設の再編を含めた計画を策定することとなった。

計画策定に当たり、子どもの保護者、子ども・子育て支援に関する事業の事業者、学識経験者で構成された「豊岡市子ども・子育て会議」に、2018年11月7日に諮問を行い、本年9月13日に答申をいただいた。

今回の答申では、「幼児教育・保育のあり方」、「放課後児童の育成のあり方」それぞれの目指すべき基本方針として、将来像、基本方向、基本方向を実現するための方策、これからの取組、当面の対応策について答申をいただいている。

施設整備の具体的な構想について、各地域や各小学校における子ども数の見込み推移、通園距離なども考慮し、再編案を提案いただいている。加えて、園区を撤廃し、いずれの園にも通園可とすることを基本方向とするものの、小学校就学前にあたり、4・5歳児のグループ化も考慮し、緩やかな通園区域を設定し再編案を提案していただいている。

また、就学前施設の再編にあわせて、旧幼稚園舎等を放課後児童クラブの専用施設として活用することを提案いただいている。

なお、行財政改革における放課後児童クラブの民間委託や、児童数の減少に伴う小学校のあり方の検討とあわせて放課後児童クラブのあり方を再度検討することが必要と考えます、と意見をいただいている。

今後、10月10日から24日にかけて、公共施設のあり方を考える市民懇談会の中で、この答申の内容を市民の方に説明し、ご意見をいただきたいと考えている。また、関係する法人等とも協議をしながら、市の財政状況等も鑑み、計画案を作成していきたいと考えている。計画案を作成後、パブリックコメント等を通じ、市民の方にご意見を伺い、2020年3月末をめどに計画を策定する予定である。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(向井委員)

認識不足で申し訳ありませんが、再編後に新規の私立認定こども園になるところが結構ありますが、その場合でも豊岡市が取り組んでいる運動遊びや英語遊びなどは、私立園でもスムーズに取組をしてもらえるのでしょうか。

(こども育成課参事)

現在も運動遊びと英語遊び保育については、公立園も私立園もほぼ同じ内容で取組をさせていただいているところです。新たな事業を取り組みさせていただく時にも、モデル的にどのようにやっていくかということについて、公立園だけでなく、私立園にも協力をしてもらいながら実施していきます。私立園になりますと、その園が大事にされている精神を曲げるわけにはいきませんので、向井委員が言われるようなご心配がゼロかと言われるとそうではありませんが、お互いに豊岡市の子どもたちのためにやっていくことですので、丁寧に説明し、協力を求めながら、現在と同じように進められるよう努めてまいります。

(向井委員)

もう1つ、今は幼稚園の先生方と小学校の先生方とのやりとりがあるので、安心して入学を迎えられると思いますが、再編後、先生同士の連携という面で少し不安があり、親も子どもも不安を感じるのではないかと気になっています。

(こども育成課参事)

その件につきましては、子ども・子育て会議でも議論され、就学前施設と小学校の連携、交流の推進について提案されています。

(向井委員)

よろしくお願いします。

(飯田委員)

事前に配布していただき、細かいところまで突っ込んだ答申になっていて、すごくよくわかりますが、これがすぐ目の前にある小学校の小規模校のことに波及する可能性というのは十分あると思います。その辺も踏まえて、答申は答申というかたちでの説明にさせていただきたいと思いません。

それから、新しい園については、ほとんど私立ですが、市の責任はどうなんだというような部分を突っ込まれる可能性があると思います。会議の委員には、現在、保育園を運営しておられる方がおられると思います。例えば、施設の維持などについて聞かれたときには、当然、市も補助金等を含めて出しているのですが、あからさまに私立だということがいいのかどうか、ちょっと気になるころではあります。

(こども育成課参事)

答申の考え方として、今、公立でも私立でも十分同じ質が提供できていますので、子どもの数がある程度見込めて経営的に民間で十分やっていると判断されたところは、私立に。どうしても私立の経営に押しつけるわけにはいかないということは、公立が責任を持ってやっというところが、この答申の背景としてあります。それぞれの関係法人の皆さんには、昨日全体説明会を開催し、来週から個別の協議に入っていきます。今後、やっていただけるのか、難しいのかということを含めながら、最終的にはどのような整備をしていくのかというのを検討していく必要があると思っています。

(飯田委員)

市も非常に長期財政が厳しい状況の中で、民間に期待しているという部分がありありと見えてくるものですから、ちょっと気になりました。それと、説明会が始まりますが、入園している保護者に説明会の案内を出すということですが、それも大事なことです。むしろ、これからお子さんができるような方たちにも来ていただいたほうがいいと思いますので、地域の方々や代表の方にも案内をしてもらうことはどうでしょうか。

(こども育成課参事)

委員ご指摘のとおり、これからお母さんになられる、お父さんになられる方もとても大事になりますが、その方々宛にダイレクトメールは送れませんので、地区の皆さまには、区長さんに周知をお願いしています。

(教育長)

それでは、答申内容は盛りだくさんになっています。どんな課題がこれから待っているかわかりませんが、民間にはこれから個別に協議をやっていきますので、そのことを踏まえながら計画案を作っていくということになります。また気づいたことがありましたら、こども育成課に申し出ていただけたらと思います。

【日程 第7 委員活動報告】

(教育長)

それでは、日程第7 委員活動報告に移ります。短時間で結構ですので、活動で感じられたことをお願いしたいと思います。

(飯田委員)

一つ目は運動会ですが、9月23日に3校行かせていただきました。小規模校と、もう1つ、ある程度生徒がいる学校とでしたが、小規模校はこぢんまりとしていて、アットホームな感じがありました。ある程度生徒がいる学校は大胆でスケールが大きく、まさしくこれが運動会らしいなと思いました。やはり子どもは集団の中で育つほうがいいと感じました。本来、子どもというのはもっと大胆に、チャレンジ精神が燃えるような、奮い立つような部分があってもいいのではないかなと思いました。非常に意義のある運動会でしたが、地域の方の参加者が少ない区と、地域こぞって参加している区とがあり、大きな差があるなと思いました。

二つ目は、先日、文部科学省主催の研究協議会に行かせていただきました。文部科学省の課長補佐が説明をしてくれましたが、IT社会に向かってどうするのか、働き方改革をどうするのか、さらに、少子化に向けた教育行政とはという、大きな3つの柱があるというお話でした。今、学校現場が非常に忙しい、いかにIT化を利用して、先生方の負担を少しでも軽減していくことがひいては働き方改革につながっていくのではないかということでした。文部科学省からいろんな指示がどんどん出るものですから、現場は糞詰まりのような状況になってしまって、働き方改革の旗振りは一所懸命するけれども、なかなかそれが進行しない、それをもっと現場でしっかりと考えなければならない。学校には発展的解消で削ってしまえばいいものもたくさんあるのではないか、その辺をもっと見極めることが必要ではないかということがありました。働き方改革だと言って、それを測る物差しって何だろう、80時間、60時間などといった時間のスケールでしか測っていないです。人を教育するというのは時間ではない、ハートなのだと、時間だけで物事を語るのはどうなのか、という意見が出ていました。私は、働き方改革の分科会に行って、西日本の各府県の教育委員さんと話し合いました。部活の問題、学校での研修会、先生自身が時間外と思っていないこと、あるいは、これは時間外だということの線引きはどうするのかというのは、他の府県でも難しい問題だとおっしゃっていました。働き方改革は自らが考え、しっかりと自身の健康面を見極めながら教育をやっていただくような先生を育てていくことが大事ではないかと思いました。

(向井委員)

城崎小中合同体育祭と小規模校である竹野南小学校の運動会に行かせていただきました。小中合同も小規模校も、どちらも初めて行かせていただきましたので、とても興味深いものでした。城崎小中の体育祭当日は、日差しも強くて、とても暑い日でしたが、子どもたちは意外に元気で、笑顔あふれる素敵な運動会でした。

竹野南小学校の運動会では、先ほど、教育長もおっしゃっていましたが、最近の気象状況は何が起こるかわからないので、開催を決定するのがとても難しいと思いました。警報が出ている中、予定どおり9時からのスタートでしたが、しばらくして注意報に変わりました。時折、強い風が吹くたびに、みんなで来賓と本部席のテントを支えながら見させていただきました。校長先生とお話をしたのですが「やはり休みの日にさせてやりたかったです。子どもたちの達成感が全然違うので」とおっしゃっていました。子どもたちにとっては、今まで一所懸命練習してきたことを地域の方やお家の方に見てもらいたいという思いは強く、成し遂げたあとの達成感は何物にも代えがたいものだ気づかされ、本当にその日にやってよかったと思いました。地域と合同での運動会でありましたが、雨で地域の運動会が中止になり、小学校だけになってしまったので、子どもたちは全部のプログラムに続けて出なければならない状況で、1日中準備と演技とに追われて走り回っていました。本当に大変だったと思いますが、その分、達成感も味わえたのではないかと思います。

それから、どちらの学校にも言えることですが、いろいろな場面で先生方が子どもたちに「ようがんばった」、「いいぞ」、「よかったよ」、「できたね」と頻繁に言葉をかけておられて、とても素敵な関係が築けているのだなと思いました。

(成田委員)

一つ目は、9月4日に進学対策に関する陳情に県に行ってきました。進学対策協議会と小委員会でもまとめた意見を陳情書というかたちで作り、県教育委員会の教育次長、その他、対応していただきましたが、大変丁寧で真摯な対応をしていただいて有難かったと思っています。詳細は、事務局で報告書を作成しておりますが、陳情内容は今までの内容とそんなに変わっておりませんが、やはり陳情というものを継続していく必要があるということを感じました。陳情の中で特に目新しいこととしては、但馬の実情を考えて、クラスの人数の定員を減らすことはできないかということも陳情に入れました。いろんな行き届いた教育、特色ある教育という面でも、非常に期待ができるということで、陳状の内容に入れました。全く実現不可能ではないということまではわかりました。それから、県教育委員会から日高高校へ地元の進学者が少ない、これはなぜかということを知り、私は答えられなかったのですが、日高高校には看護科があるわけですが、看護師になりたいという希望の生徒はいるのかもしれませんが、中学校の段階で進路を決めてしまうというよりも、ちょっと都会方面に出てみたいというような、自分の可能性を但馬ではなく、都会のほうにというような漠然とした気持ちもあるのではないかということを考えました。今後、中学校の進路指導とも情報共有するなど、これからもう少し現場のことを勉強させてもらいながら、今後の陳情などにつなげていけたらと思っています。

次に、運動会・体育祭についてですが、3校行かせていただきました。運動会・体育祭の中身についてですが、中学校の体育祭では、生徒が退場門を通ると控えている生徒がパチパチと拍手

をしている、とても微笑ましいし、すごいことだなと思いつつ感動して見ておりました。演技ご苦労さん、よくがんばったね、という意味の拍手だろうと思うのですが、小学生だったらそういうことがあっていいかなと思うのですが、中学生でそういう姿が見られたというのは、とてもいい感じがしました。

小学校では、徒競走やリレーなどで1人1人名前を呼んでもらっていました。これもなかなか、細かいことですが1人1人を大事にした、いい配慮かなと思いました。校長先生はこの運動会で子どもにどういう力をつけたいと思っているのかということをしつかり持っていなければならないし、それを職員に伝えなければならない。教頭先生は、その目的がうまくいくように調整に当たらなければならない、そういう観点で見せてもらっていました。あと、中竹野小学校に行かせてもらいましたが、ここは地域との合同運動会が学校だけの運動会に変わってしまいましたが、開始時間が10時半と遅れました。おかげで最初から最後まで見ることができました。ここは23人の全校生ですが、本当に子どもたちがきびきび動いていて、感動を覚えました。先ほど申しましたように、校長先生のあいさつの中で、今日の運動会の目的を明確に述べられていました。自分の力を力いっぱい出そうという、単純に言えばそういうこと、もう1つ、日頃お世話になっている地域の方に感謝の気持ちを届けよう、その2つでもって演技をしようということ強く訴えられておりました。運動会の目的が児童にそこで意識されたと思います。そのあとで、子どもが少ないので、先生がアナウンスをして進行をしていました。折に触れて、その目標に関することを放送で言うわけです。例えば、組み体操の演技の中で、「さあ、この地域の方に感謝の気持ちを思い切り込めて演技をしましょう」というような放送を入れられるわけです。それがずっと始めから最後まで、いろんな言葉を変えながら続いていたように思います。その辺が1つ素晴らしいなと思いました。

(佐伯委員)

小学校の運動会の開催が雨のため、こんなに延期、延期になるのは、たぶん今までなかったのではないかと思います。豊岡小学校は二転三転四転ぐらいして、今日25日の開催になったわけですが、先ほど向井委員がお休みの日に開催して、達成感があるというのもすごくいいと思いますし、とりあえず天候を見ながら延期の日を決めて、いいお天気の中で気持ちよくできたこともいいと思います。両方とも、それぞれ校長先生の判断は正しいなというふうに思いました。気持ちよく子どもたちは運動会を過ごせたのではないかと思います。平日開催の学校は、保護者の皆さんの中にはお休みが取れない方もいらっしゃると思うのですが、豊岡小学校ではおかげさまでたくさん保護者の方、そして、地域の皆さんが来られておまして、大きな声援を送っていらっしゃって、本当に活気あふれる運動会だったと思います。

豊岡南中学校にも行かせていただきましたが、校長先生が「生徒たちは昼食を各教室で取ることにしている」とおっしゃったので、理由を聞きますと、「クーラーがついたので一度子どもたちを教室に戻して、体を冷やして体調を整えてから、また午後の演技を頑張らせたいと思っている」とおっしゃっていました。クーラーが各学校に付いたということは、こういう面でも活かされているのだなと思いつつ、とても嬉しく思いました。また、そのように子どもたちの体調を配慮していただいている細かい気遣いも嬉しく思いました。ただ、保護者の皆さんには、なぜ子どもと一緒に昼食を食べられないのかということがあまり浸透していなかったようで、保護者の方に理由を説明すると、「そういう理由だったのか」とわかってもらえました。もう少し上手に周知さ

れたらもっと保護者の皆さんの理解が得られるのではないかと思います。

今回、運動会が延期、延期になりまして、運動会への訪問について私たち教育委員に気を遣っていただいた部分が多かったのではないかと思います。「行ってもらわなくていいです」という連絡もあって、気を遣っていただいていると同時に、教育委員が教育委員会の中でお客さんみたいな、まだそんな感じなのかなとちょっと寂しく思った部分もあります。教育委員も教育委員会のチームの一員として扱っていただけたらと思いますので、またよろしくをお願いします。

【日程 第8 教育委員会活動予定】

(教育長)

日程第8 教育委員会活動予定に移ります。会議予定、今後の活動について、事務局の説明をお願いします。

1 次回教育委員会会議の日程について

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

第7回定例教育委員会会議は、10月29日（火）午後1時半から、本庁舎7階第3会議室で、第8回定例教育委員会会議は、11月28日（木）午後1時半から、本庁舎3階庁議室で開催する。

2 今後の活動・行事予定

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

今後の活動・行事予定について、資料に基づき説明する。

この土曜日に開催される保育園・幼稚園・認定こども園の運動会について、開催の有無、場所の変更等の連絡が園からあれば、委員の皆さんに連絡させていただく。

10月11日（金）滋賀県野洲市で開催される近畿市町村教育委員会研修大会は、8時に公用車で本庁を出発する予定である。

また、11月6日（水）に総合教育会議を開催するが、事前学習会を次回10月29日（火）の教育委員会会議終了後に開催する予定である。

(教育長)

以上で日程は終了となりますが、全体を通して何かありませんか。

それでは、次回の教育委員会会議は、10月29日（火）午後1時30分から、本庁舎7階第3委員会室で開催します。

これもちまして、第6回教育委員会会議を閉会いたします。

閉会 午後3時45分

この会議録は、会議の内容と相違ないことを証します。

2019年9月25日

教育長

委員